

第66回 病態生化学セミナー

日時：平成24年11月20日（火曜日）午後6時00分～

場所：医学部 図書館3階 視聴覚室

演題：転写とRNA運命・クロマチン制御のクロストーク

Cross-talk between transcription and regulation of RNA-fate and chromatin

演者：北海道大学 先端生命科学研究院 教授

村上 洋太 先生

転写そのものはRNAポリメラーゼが鋳型DNAの情報をもとにRNAを合成するシンプルな過程である。しかし、細胞内では転写はクロマチン構造により精密な制御を受けている。一方、転写されたRNAはスプライシングを含む各種のプロセッシング・運搬の過程を経て、様々な運命をたどる。クロマチン～転写～RNA運命決定の過程の間には複雑なクロストークがあることが最近の研究から少しずつ明らかになり、エピジェネティックな遺伝子制御においてその重要性が認識されつつある。私達が研究対象にしているRNAiに依存するヘテロクロマチン形成系では転写とRNAプロセッシング、クロマチン構造制御が密接に共役していて、この問題にアプローチする大変よいモデル系となる。私達がこのシステムを使って明らかにしてきた、転写とクロマチン・RNAのクロストークについての最新の知見を紹介する。【村上 洋太】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp